

Go for 3 E! ～西陵生のみなさんへ校長メッセージ～

三田西陵高等学校

笑顔

夢

プロジェクト

9月号

やってみようよ！ あなたのポートフォリオ♪

夏休みを振り返ってみてください。学校があるときにはなかなかできなかった、自分が好きなこと、興味・関心があること何でも、何かにチャレンジすることができましたか？

みなさんの中には、夏休みにしかできない体験をした西陵生がいます。例えば、三田市内の高校生や市民グループなどによる科学の祭典「さんだサイエンスフェスティバル」に2年総合的な探究の時間「面白実験をプロデュース講座」を受講しているみなさんが「夏休み自由研究お助け隊」というチームで参加しました。ペットボトルの中に雲を作る実験など8種類の小学生がアツと驚く実験を披露し、参加した子どもたちと一緒に楽しんだそうです。

また、夏季インターンシップの教育現場体験として、子どもみらい類型で学ぶ2年生の希望者が、日頃から実習でもお世話になっている幼稚園や保育所で体験を深めました。

さて、あなたはどうか？ 今、頭に浮かんだことを夏休みの素敵な思い出としてそっとしまっておきますか？あなたの「ポートフォリオ」にしてみませんか？※参考【Q&A1】

<ポートフォリオを作成するとこんなイイコトが！>

① 自分の学びを記録し振り返ることができる

プリントや写真、作品や電子データ etc. 様々なもので「ポートフォリオ」を作成し、振り返ることで、高校でのすべての教育活動の中で、自分が何を学び、どんな力が育ったのか、問題をどのように改善してきたかを確認することができます。それらは、新たな学びのヒントを見つける手がかりとなり、学んだことをこれからの人生にどう生かしていくか考えていこうとする、主体的なキャリア形成へとつながります。

② 進路実現に向けたアピール資料として活用できる

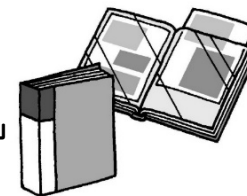
教科学習の成果だけでなく、部活や行事などの学校活動や取得資格のような、学校内外における総合的な活動成果を「学習ポートフォリオ」として記録することで、自分の能力や考えを示す根拠をそろえて自己アピールする力が身につきます。自己アピール能力が高ければ、大学入試（総合型選抜、学校型選抜）、就職試験はもちろん、将来、仲間と協力して課題を解決したり新たなビジネスチャンスを掴んだりするのにも役立ちます。 ※参考【Q&A2】

<質問コーナー>

【Q1】ポートフォリオって何ですか？

【A1】ポートフォリオとはもともと「書類入れ」という意味で、「複数のものを、ひとまとめにしたもの」という意味で使われます。

例えばクリエイターや芸術家の方が作る自分の作品集のことも「ポートフォリオ」といいます。学校では、



みなさんの学習の過程や成果などの記録や作品等を集積して、それを評価に活かすという「ポートフォリオ評価」として使われます。

【Q2】eポートフォリオと何が違うの？

【A2】eポートフォリオとは、従来の学習ポートフォリオをデジタル化しデータベースにしたものです。テストの点数を記録するだけでは教科ごとの学習成果しか測れませんが、eポートフォリオを作成すれば主体性など数値化が難しい分野の能力を把握・評価できます。文科省「高大接続改革」の「大学入試改革」でその活用が期待され、導入を検討していた大学側も、データの分析・評価システムが整っていない、短期間で評価できないなどの課題があり導入が進んでいないのが現状です。